

大分市地域まちづくりビジョン

佐賀関地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信

第2号

発行：令和3年2月15日 佐賀関地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

令和2年度 第1回佐賀関地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

■令和2年11月26日(木)14:00～

■佐賀関市民センター 集会室

開会

1. 委員・事務局自己紹介
2. 会長・副会長選任
3. 会長・副会長あいさつ
4. 議事
(1)会議の公開について
(2)地域まちづくりビジョンについて
(3)地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
(4)地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について
(5)今後の予定について
(6)過疎地域自立促進計画事業について

閉会



■地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況及び意見交換会の内容(抜粋)

事務局から佐賀関地域まちづくりビジョンの概要について説明を行いました。
※提言及び取組事業についての詳細は裏面をご参照ください。

●提言1：人が集まる観光振興対策

【事業の取組状況】

《市》観光振興を目的として、佐賀関支所に「地域おこし協力隊員」が配属され、地域等との連携により人を呼び込む仕掛けづくりに取り組むこととしています。



《市》平成29年度から旧大志生木小学校にて、地域とアーティストが連携したアートイベント「開校！大志生木こどもアート学校」を継続して開催しています。また、令和2年度には旧大志生木小学校をアトリエとして利用している5名のアーティストと招待作家1名による計6名のアーティストが佐賀関の各地域に合った作品をそれぞれが制作し、展示した地域周遊型展覧会「さかのせきアートコレクション（会期：令和2年11月28日～12月20日）」を初めて開催します。

《市》旧大志生木小学校校舎の一部を地元の交流スペースとして改修し、テニスコートは砂入り人工芝とし一般利用の体育施設として整備しています。

《市》「道の駅さがのせき」増築についての支援等を行い、佐賀関エリア内の交流人口増加に向けて取り組むこととしています。

《地域・個人》購買会のリニューアルを2021年4月オープンに向け工事に着工しています。（J×金属製錬佐賀関製錬所）

《地域・個人》インスタグラムを開始し、観光資源等の紹介を予定しています。（国道九四フェリー）

《地域・個人》佐賀関の風景を撮って絵はがきやDVD、小物等を作り、お店に置いてもらって販売をしています。また、観光看板の作成及び設置並びに龍馬の道などの草刈りを実施しています。（さがのせきボランティアガイド協会）

●【提言2】コミュニティの維持・活性化

【事業の取組状況】

《地域・個人》県の補助事業により備品を購入し、併せて市の補助金で施設の整備を行い、高齢者の生きがいづくりを目的に高齢者が集う「はまぼうカフェ」を開始しました。（馬場自治区）

【会議の中で出された意見・要望】

- ・本神崎校区では、高齢者が集う寄合所、サロンや健康づくりを維持しながら、お互いが困った事があれば助け合う「支えあい地域づくり」をまちづくり協議会と校区社協で取り組んでいます。

●【提言3】便利で快適なまちづくり

【事業の取組状況】

《地域・個人》住民から寄贈された軽自動車を活用し、交通弱者に対して買い物等の移動支援を無償で行っています。（NPO法人福祉コミュニティKOUZAKI）

●提言1～3の複数に関係するもの

（事業名）さまざまな地域資源を生かした人が集まるまちづくり

【事業の取組状況】

《市》関崎海星館から関崎灯台へのアクセス向上のため、「周辺の遊歩道整備」について検討を進めています。



《市》令和元年度に「大分市関崎海星館施設整備基本構想」を策定し、「星と海と人がつながり心の宝物に出会う場所」のコンセプトのもと、子どもから大人までが、星、海、自然に対する興味・関心を高め、主体的に学べる場として、市民をはじめ多くの方々から長く愛される魅力ある社会教育施設を目指し、令和2年度に基本設計を行い整備内容を決定する予定となっています。

また、アクセス道路についても道路管理者である大分県へ幅員の狭小部分の解消等の働きかけを行ってまいります。

《地域・個人》12年ほど前に本神崎校区の磯崎海岸でウミガメの産卵があり、またウミガメに戻ってもらいたいと清掃活動をはじめました。その際、APU・NBUの生徒が海岸清掃に参加し、現在も「トヨタフェス」としてボランティア活動を行っています。（馬場自治区）

【会議の中で出された意見・要望】

- ・旧佐賀関町時代に関崎灯台付近の遊歩道等の整備を行っています。20数年が経過し、かなり傷んでいると思うが、過去に整備した遊歩道等の基盤を活用して今後も整備を進めていただきたいと思います。

（事業名）幸崎駅を中心とした定住化促進事業

【事業の取組状況】

《地域・個人》单身者用シェアハウスの運用により、高齢者等への福祉活動を拡充しています。（NPO法人福祉コミュニティKOUZAKI）

【会議の中で出された意見・要望】

- ・幸崎駅周辺の市有地をグラウンドゴルフ場として利用していますが、民間に売却し、宅地化することができるのではないのでしょうか。まちづくり協議会で土地利用等についての調査をおこなっているが、市が持つ資料等を見せいただき、まちづくり協議会でも土地利用について検討をしてみたいと思います。
⇒《市》今後の土地利活用につきましては、地元の意向等踏まえたうえで検討をしたいと思います。また、図面等については、提供できるものについては、ご用意いたします。

- ・神崎小中学校は小中一貫小規模特認校としてスタートをしているが、校区外の子もたちが思ったほど来ていない。地元としては、多くの子どもが来ることを期待しているため、どのような広報等を行っているのかお聞かせいただきたいと思います。
⇒《市》昨年度の取組実績となりますが、市報に小規模特認校の写真や紹介文を各学校ごとに掲載し、ホームページにも情報を掲載しています。また、就学児検診時に、新入児童全ての保護者の方にチラシの配布を行っています。

- ・今、こうざき校区まちづくり協議会では「地域包括ケアの推進」を目標に掲げ、モデルとなるような取組を実践していこうとしています。地域包括ケアの仕組みづくりと取組の推進を図るための手助けを市にお願いします。



「佐賀関地域まちづくりビジョン」とは

急速な少子高齢化が進む中、大分市においても今後人口が減少することが予想され、地域住民同士の支えあいや交流が少なくなるなど、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題を解決するためには、行政が地域の実情や意向などを的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的として、市内13地域において、各地域の代表者等でつくる「地域ビジョン会議」を設置し、その中でそれぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域のまちづくりを進めるうえで目指すべき将来像として「佐賀関地域まちづくりビジョン」を策定しました。

【佐賀関地域の対象校区】

佐賀関地域まちづくりビジョンは、本神崎・木佐上・大志生木・関・一尺屋の5校区を対象としています。

【佐賀関まちづくりビジョンの将来像】

来て良し 住んで良し 美しい佐賀関

【これからのまちづくりに向けた市長への提言】

提言1：人が集まる観光振興対策

本地域は豊かな自然から生まれた海の幸・山の幸、海水浴場、観光スポット、市外の方も楽しめる地域伝統行事など、観光資源が多くあります。

地域資源をより有効に活用するため、分かりやすい情報の発信や、観光客が来たくするような拠点・仕組みづくりが求められます。

提言2：コミュニティの維持・活性化

都市部と比較すると、住民同士の関係が密接で、行事などの住民交流、高齢者の見守りや災害時の助け合い体制が構築されています。

このような体制を維持していくために、次世代を担う若者も交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取組が必要です。

提言3：便利で快適なまちづくり

本地域は自然環境が豊かな一方、住宅や交通の便が少ないことや買物・娯楽施設の不足、農作物への有害鳥獣被害などの弊害があります。

美しい自然環境を保持しながらも、生活の利便性を向上するための基盤整備や支援を望みます。

【提言に基づく事業提案と概要】

提言	番号	取組事業名と概要
提言1	①	佐賀関中心部の観光振興（インフラ整備） ・支所周辺に観光客が食事をできる場所や土産店をつくり、駐車場を整備するなど人を呼び込む仕掛けをつくり、まちを盛り上げる。
	②	大志生木小学校跡地の利活用 ・アクセス道路の整備と合わせ、グラウンドは公園やテニスコートに、校舎はいこいの場やアーティストのアトリエ・工房などに整備、利用する。 ・地域と行政が協力し、アートイベント等を地域の行事と連携しながら実施して地域のにぎわいにつなげる。 ・ツールド佐賀関のようなサイクリングイベントを開催し、大志生木小学校跡地を休憩ポイント等の拠点として利用する。
	③	人が集まるまちづくり ・日豊海岸国定公園の美しい景観や早吸日女神社、関崎灯台、関崎海星館から見た早吸瀬戸・高島など、観光資源をPRするためボランティアガイドと連携したまちづくりを行う。 ・「関あじ・関さば」の知名度を向上し、観光客を増やす。 ・「一尺屋みかん」をPRし、収穫体験などにより農業振興に取り組む。
	④	地域のホームページ作成・情報発信 ・各校区のホームページ等を作成して、地域の観光資源や名産をPRする。
提言2	⑤	高齢者が安心して住めるまちづくり事業 ・総合病院である佐賀関病院と連携して健康づくりを推進する。 ・気軽に高齢者が集まれるミニサロンを開催する。
	⑥	若者も参加する地域まちおこしイベントの実施 ・NPOや商工会議所のほか、行政も入って多くの人が参加するイベントを実施し、地域のために活動できる若者を育成する。
提言3	⑦	交通弱者対策事業 ・JRと連携し、JR幸崎駅から佐賀関半島循環バスを運行する。 ・バスとJR幸崎駅との接続の利便性向上。 ・高齢者にもっと出掛けてもらうため、ワンコインバス（現、長寿応援バス）やコミュニティバス、乗合タクシーの運行を行う。
	⑧	有害鳥獣の捕獲拡充とジビエ料理への活用 ・イノシシ等の狩猟免許の規制緩和による捕獲と、ジビエ料理の研究・販売・提供に係る施設等を整備し供給を拡大する。
提言1・2	⑨	さまざまな地域資源を生かした人が集まるまちづくり ・関崎灯台、関崎海星館（アサギマダラを含む）、縦の木山セラピーロードなどの資源を生かした観光ルートを作り、道路網や案内板等も整備する。 ・JR幸崎駅から、かつての軽便鉄道の廃線敷をたどって佐賀関バスセンターまで、約10kmの「さがのせきサイクリングロード」をPRする。 ・関崎海星館のプラネタリウム等の設置や学校跡地を活用した青少年の教育拠点の整備を行う。
提言1・3	⑩	佐賀関港周辺の再開発や整備 ・佐賀関港から支所周辺までの動線を整備し、買い物場所や釣りスポットをつくる。 ・佐賀関港から支所周辺まで自動運転車両を運行し、人の流れをつくる。
提言2・3	⑪	幸崎駅を中心とした定住化促進事業 ・高齢者や認知症の方を集めて実施している食事会などの福祉活動を市の支援を受けながら拡充する。 ・幸崎駅周辺市有地の活用について、地域と行政で一緒に協議し、空家、空地の活用や住宅整備を行う。 ・各校区で「まちづくり協議会」を設立し、市民参画のまちづくりを実施する。